

## フロンキーパーのIoT化による提供イメージ

は開発された。今回、難波俊輔社長が追い風と称するものは、先頃、一般社団法人日本冷凍空調工業会（以下「日冷工」）が規格化したJ R A G L-17・2021「業務用冷凍空調機器の常時監視によるフロン類の漏えい検知システムガイドライン」で、この中で示された「冷媒漏えい量の調査結果」において、毎日計測及び診断を行う遠隔監視を含む常時監視システムが普及することによる、使用時漏えいの早期発見に繋がると思われると定義されたことだ。

新冷工業  
シナジー生み  
出すテーマは『  
フロアヒーラ  
ンバ』

「共創」システムも協業への動きと同様需要獲得を行なう割増といつては、突然させた。熟知していた女性社員が、いつては昇格させ、技術サポートする市場背景をもたらす。事奮闘してい社における相手づけでいるのが、人事部長を新設させ、工事説を新たに設けを図ってきた。組織として、成長系に定め、新冷工業、ナシキ冷工業を兼務することを、新冷工業の効率を追求しつつも、

**シナジー生み  
出すテーマは  
『共創』**

2012年に独自開発したフロン漏えい検知システム・FreonKeeper(以下＝フロンキーパー)が凡そ10年の月日を経て改めて注目される素地が整いつつあるとチバ(本社・新潟県

元来、ナンバは地場有数の総合設備工事業者として確固たるポジションを構築しているが、自社事業の根幹である冷熱機器の血液である冷媒の漏えい問題には早期より着目して難波昇一会長の

8月25日、業務用空調におけるカーボンニードルの漏えい検知機能を標準搭載した業務用バッケージエアコンの新製品をリリースしている。

の実施の確保等に関する法律(フロン回収・破法)の制定から今日の正フロン排出抑制法まで至る過程で業界はフロンに対する知見と共に、いい対策に万全を期しながらきたが、未だ回収

る  
壊で改漏臨量の伸び悩みなど多くのニ  
ーマを抱えるという現状  
もある。当社においては、  
業界貢献、ユーザーサ  
ーク、その上は環境に対  
する社会貢献を目的にフ  
ンキーパーを世に出し  
て、その喰伝に努めてお

・検証事業も新たに  
億円の要求額が提出され  
ており、上流から川下  
至る呼び水となる。しかも  
確かだ。さらに先の賣  
権が打ち出したデジタル  
化も大いに商機と捉えら  
今後もフロンキーパー  
浸透に注力していく」  
した。  
△  
ちなみに同社では

「秀賞」に次いで2度目の「優秀賞」に受賞となつたほか、同社の一般社団法人日本冷暖機器工業連合会（略称＝日設連）が主催し一般財団法人省エネルギーセンターが協力する第37回優良省エネルギー部門で優秀賞を受賞す

19年にNEDO（国際研究開発法人・新工エネギー・産業技術総合開発機構）の採択案件でブランキーパーを使用したレーシア・マラッカ州施設における調査事業が実現され、飛行距離にして5000キロを超過する2国間で確実なデータを取り、検証結果を残す事例だが、この実現

立  
ル  
第  
四  
回  
立  
業  
環  
境  
が  
今  
ま  
で  
の  
業  
環  
境  
は  
厳  
し  
い  
も  
の  
が  
あ  
る。  
昨  
年  
の  
コ  
ロ  
ナ  
禍  
中  
後  
半  
に  
お  
け  
る  
巣  
籠  
需  
要  
等  
で  
近  
隣  
の  
食  
品  
流  
通  
関  
係  
(  
フ  
レ  
ー  
シ  
ン  
、  
コ  
ン  
ビ  
ニ  
を  
含  
む)  
の  
需  
要  
が  
急  
拡  
大  
し  
て  
な  
が  
た  
る  
が、  
昨  
年  
の  
2  
0  
2  
0  
年  
(19  
年  
11  
月  
～  
20  
年  
10  
月)  
が  
非  
常  
に  
好  
調  
で  
あ  
つ  
た  
反  
動  
も  
あ  
り、  
今  
期  
の  
事  
業  
環  
境  
は  
厳  
し  
い  
も  
の  
が  
あ  
る。

の見通しが立っており、設備・機械工事を含めて挽回に臨む。一方でフロンキーパーに対する動きの中で新潟県が取り組むカーボン・オフセットへの取り組みを開始した。県内の森林整備や環境保全活動を通じて地球温暖化対策に貢献していく。具体的にはフロンキーパー1一台の売上につき100円を寄付によるクレ

日冷工GL ナンバ  
規格などフロンキーパーに追い風

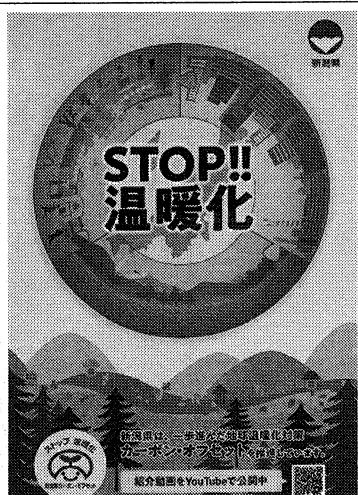
新潟県  
PR用パンフレット  
ナンバが取り組む新潟県カード・オフセット

が、やがてこうした  
冷戸のガイドラインの  
定で市民権を得られる  
のと期待している。加  
て環境省が打ち出し  
て環境規制の活用をア

# 新潟地区

# 空調・冷熱市場特集

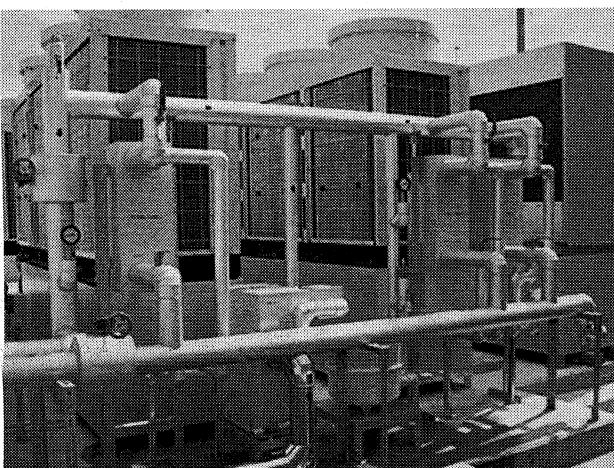
れに伴う対応に終始した  
ことで、本期分を先食い  
する形で前年に消化した  
ということも大きい。ま  
た食品加工関係の工場案  
件などが少なかつてこ



## 新潟地区 空調・冷熱市場特集

ースなど都度、着手の場ケットなどの食品流通面は増えてる。むしろ両社の取組みにこの2年で厚みが増したものと認識していふ」とした。新冷工業ではナンバが「アヒーティングシステム」がある。

フロンキーパーをひとつ同システムはショーカーの自社開発製品とするの「ス前通路の「コールと同様に、スーパーマー「アイル」やレジゾーン



#### 屋外熱交換器設置位置

工ネジ快適な店内環境の  
両面を実現する。導入、  
未導入店舗との比較で、  
天井裏の相対湿度100%  
の結露時間をおよそ8  
割削減できた実測結果を  
示している。本期について  
も新潟県内の大手スーパー  
トマーケットなどでの採  
用を決めている。

足元の第2回を参照)。いわゆる「従業員實に對しても、やむなく環境を提供する。例えは梅雨や高湿度が発生する時間には、店内の結露やカビの発生も抑制する。

独自のヒートパイプ方式によって店内温度を改善することでショーケースの負荷を軽くし、同時に冷凍機のランニングコスト軽減にも貢献。床を温めることで熱が輻射、対流し、店内の温度分布が改善されるといった効

19年にNEEDO（国  
研究開発法人 新エネ  
ギー・産業技術総合開  
発機構）の採択案件でフ  
ランキーパーを使用した  
レーシア・マフツカ州  
施設における調査事業  
を挙げられる。飛行距離  
して5000キロを超  
る2国間で確実なデータ  
を取り、検証結果を残  
した事例だが、この実現  
はほんの一部である。  
一般財団法人日本冷凍  
空調設備工業連合会（通  
称＝日設連）が主催し、  
一般財団法人省エネルギ  
ーセンターが協力する第  
37回優良省エネルギー設  
備顕彰の運転・保守管理  
部門で優秀賞を受賞する  
などフロンキー・パーの露  
とほんの一部である。

ついて難波社長に聞いた。「当社は10月が決算となるが、昨年の2020年（19年11月～20年10月）が非常に好調であつた反動もあり、今期の事業環境は厳しいものがある。昨年のコロナ禍中後半における巣籠需要等で近隣の食品流通関係（ラーパー、コンビニを含む）の需要が急拡大して